

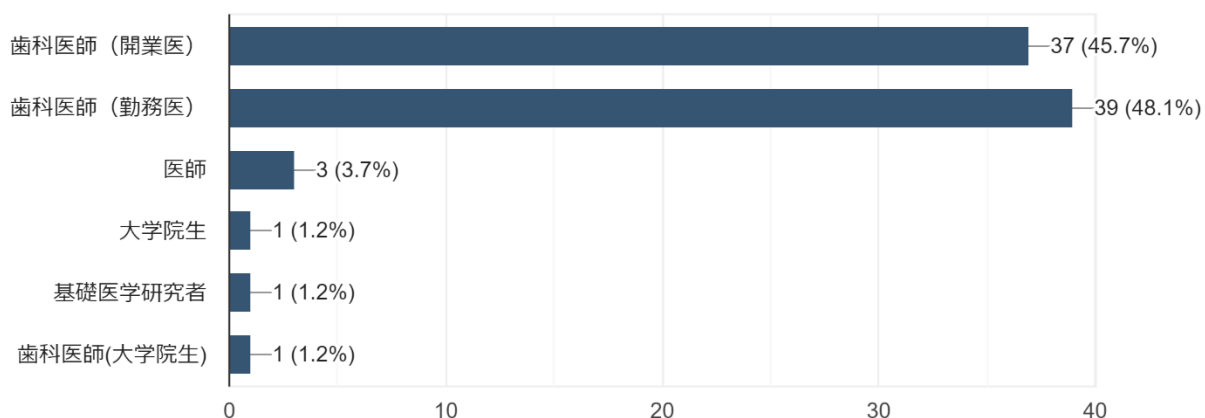
# 歯科医のための Headache Academy ～三叉神経・自律神経性頭痛（TACs）の診かた～ アンケート集計結果

2020年12月6日（日）13:00～16:00（オンライン開催）

参加者合計 124名

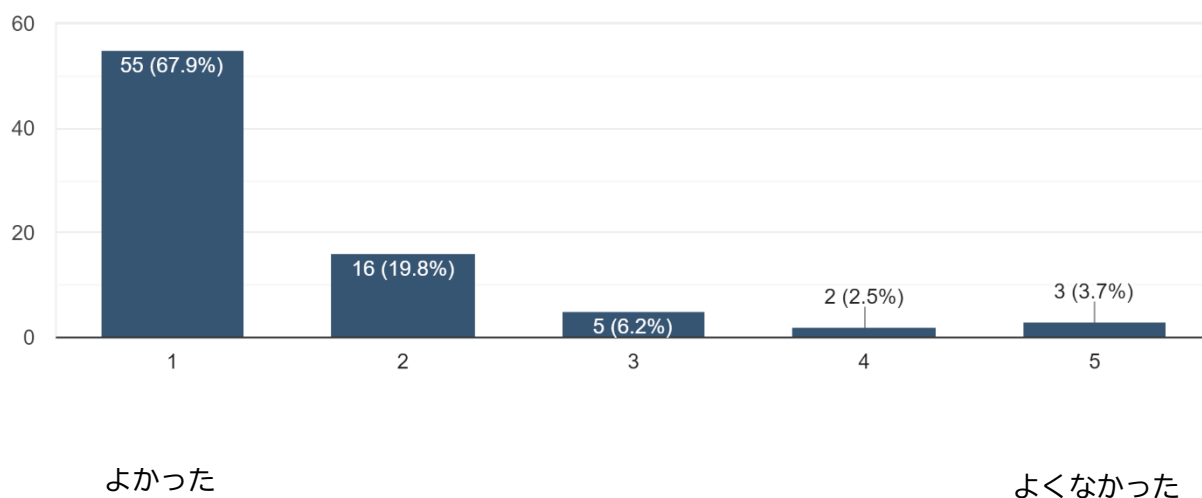
## 1. あなたの職種について教えてください。（複数回答可）

81件の回答

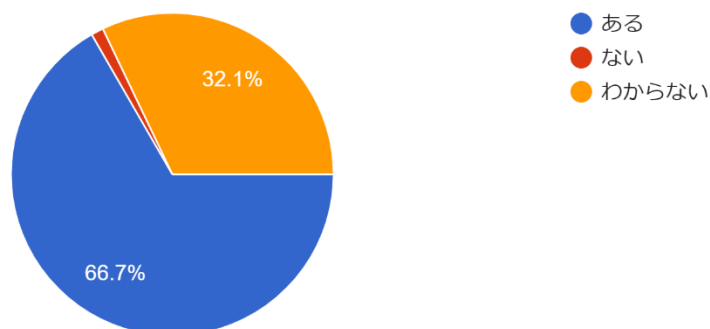


## 2. 今回のセミナーの感想をお聞かせください。

81件の回答



3. 今後、歯科口腔外科領域における慢性痛診療に...機関（25施設）との連携にご興味はありますか？  
81 件の回答



4. 歯科口腔外科領域における慢性痛と集学的診療に関するご意見をお願いいたします。

- ・トリプタンだけでない真の原因療法が知りたい。
- ・病院歯科口腔外科勤務ですが、神経内科やペインクリニックとさらに連携を深めたいと思います
- ・今まで様子を見ていた症例の一部が TAC s に相当するのかな、と思いました。
- ・歯科領域は集学的診療に関連するべきであると考えます。
- ・歯科から紹介しやすい環境があると助かります。
- ・連携、紹介がやりやすい環境が欲しいです
- ・多職種との連携の難しさと日々痛感しています。
- ・歯科医師二対する教育がもっと必要と思います。
- ・病院勤めでなくても、できることがあるということも学べて幸いです。
- ・歯科口腔外科領域の慢性疼痛は診断、管理において、集学的対応が必要なことがある。地域毎に、協力体制の構築が必要と思っている。
- ・診断の困難なケースに出くわす事が多いので高度専門医療機関との連携がすごく大事と思います
- ・慢性痛の診療に歯科口腔外科が参加させてもらえない施設もまだあるかとおもいます。
- ・歯科がどこまでかわるべきか（資格、保険の制限もあり）、もう少し現実的な現場での取り組みをお聞きしたい
- ・一般開業医に広まることを望みます
- ・とても分かりやすかったです
- ・このような研修会を増やしてほしい
- ・必要不可欠
- ・慢性疼痛で苦悩している潜在患者は一定数はありますので、ぜひセミナーで幅広く知識をつけさせていただければ幸いです。

- ・非歯原性歯痛のさらなる啓発が必要と思います
- ・歯科領域における慢性痛と集学的診療は大切であると考えます。
- ・ぜひ今後も情報発信をしてほしい
- ・このようなセミナーを増やしてほしい
- ・慢性疼痛の場合、鑑別が難しいので歯科領域なのか、医科領域なのかの鑑別方法などがあれば知りたいです。
- ・どこで行っているかの周知が必要だと思います
- ・頭痛専門医の先生との連携を考えたいと思いました。
- ・今後も継続すべき
- ・歯科医師自身が慢性痛に対してより多く勉強しないとならないと感じた
- ・まだまだ慢性痛に対して歯科医師の中に周知されていないことが多いと思いますので啓蒙活動をもっと行った方がよいと感じます。
- ・医療連携が必須と思われるので、引き続き研修したいと考えます。
- ・歯痛を訴える患者さんをみてすぐに滋賀のみを見ないで全身を観察し問診をする大切さが再認識できました。有難うございました。
- ・今後も継続すべき
- ・転居等で前医の治療に関する処置についての疑問符多くなっています
- ・さらなる診療連携が必要と考えます
- ・口腔顔面痛専門医だけでなく G P の歯科医師にも情報発信できる機会があればと思います。
- ・ほけんのもんだいのかいけつ
- ・中枢性の痛みが慢性痛に関しては存在することを一般開業医に周知頂きたい。
- ・井川先生の講義を肝に銘じております
- ・薬剤の適応外使用をどこまで許容してもらえるのかについて、いつも悩んでいます。
- ・集学的診療の重要性をますます痛感致しました。
- ・拠点となるような診療体系を全国各地に構築していただけたらと思います。
- ・このような勉強の機会をいただきありがとうございます。ぜひ今後ともこのような機会をいただき、勉強させていただきまして、医科との連携をとって診療にあたっていきたいと思ひます。
- ・まだ歯科口腔外科領域で認知されておらず、連携には苦勞します。啓蒙活動のほどよろしくお願ひいたします。
- ・今回は知識的なところがメインだったようにおもいますし、実際の診療も診断が重要と思ひますが、歯科と医科で具体的にどのような治療連携をとられているかもう少し具体的に知りたいと思ひました。
- ・抜髓等を行ってしまった後の患者さんの紹介を受けることが多いので、この概念が広く普

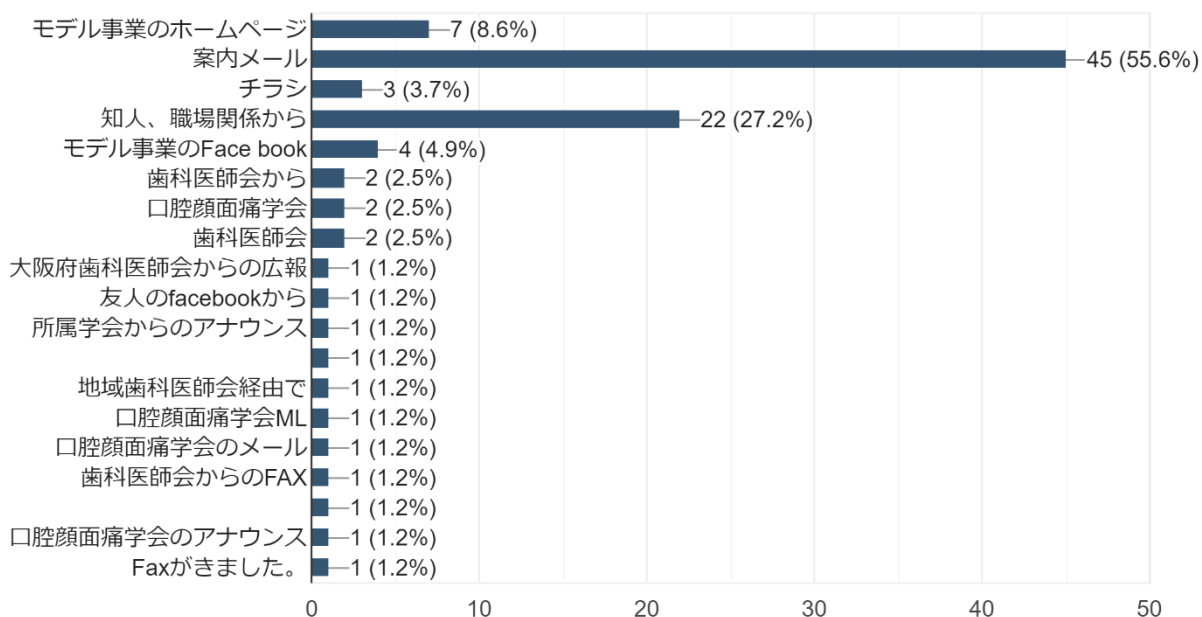
及するとありがたいです。

- ・ 以前と比較して単純な痛みでないケースが多く、口腔外科を含めて、診断、紹介のし易さは必要だと思います
- ・ 慢性痛が診療できる施設と通常の歯科診療所の連携が撮りやすい方法確立してほしい。
- ・ しかるべき医療機関に紹介できるよう理解を深めたいです。
- ・ 歯科の適応がない薬剤が多く、困難なことが多い印象です。
- ・ TACs の知識を得て、不要な歯科治療を回避したいと思います。
- ・ 難治性の方が多いので集学的診療が出来る施設の情報が分かれば助かります
- ・ まだまだ広く認知されていない領域なのでこの様なセミナーを広く開催していくことが重要だと思います。
- ・ TACs の病態、症状、鑑別診断を理解し、またある意味馴染みが深い三叉神経痛への深い理解も合わせ、誤診のないよう集学的診療が確立されていけるようにしていきたい
- ・ 今の所思いつく質問が御座いませませんが後日に改めて送信したい場合の送信先をお教え頂ければ助かります。
- ・ オーバートリートメントとならないようにすることが重要だ
- ・ 勉強不足ですので大変勉強になりました。
- ・ セミナー等の継続的な開催を希望します
- ・ 患者様の紹介など容易に出来る様、連携しやすく出来ればと思います。
- ・ 以前に井川先生の講演を聞いて自分だけでは対処出来ない事をしりました。
- ・ 開業医が「水際」で、ある疾患の疑いを持った場合（今回のテーマでは TACs）、次に患者をどこに紹介すべきかが大きな問題です。地域毎に集学的治療を行ってもらえる施設のリストを明示していただくと助かります。
- ・ 歯科口腔外科領域と限定しない方が良いと思います。
- ・ 私はまだ勉強の身ですので勉強したいです。
- ・ 医科やリハビリの先生方と広く拜見できましたら幸いです。
- ・ 推進すべき
- ・ 慢性痛に関しては集学的診療が望ましいと考えられるが、口腔外科外来に行うのは難しいように思われるので、数少ない、医科における集学的診療に歯科医も加わるのが、現実的かと思います。
- ・ 歯科領域においては まず疼痛を訴え来院されることにはなりますが、その上で、できるだけ早く除痛を患者は望み 術者も対応しようとしています。ただその中にそのような処置対応が困難な例に遭遇することもあり その時の鑑別力と的確な紹介先が、その時に的確な情報伝達が必要と考えます。そういう観点から集学的診療は重要ではないでしょうか。
- ・ 痛みは脳の機能の側面からみることも大事だと考えています。
- ・ 大変重要である
- ・ まずは啓発かと思っています。

- ・ 口腔領域の痛みの原因は時に多岐にわたるため、集学的診療を行うためには医科(神経内科、麻酔科、精神科など)との連携は不可欠である。
- ・ 歯科医に必要な診断だと思います。
- ・ 興味を持つて聞かせていただきました。
- ・ 病院勤めでなくても、できることがあるということも学べて幸いです。
- ・ 一般診療所での診療では歯科口腔領域に限定して狭く考えがちで孤立して思い悩んで解決できないケースが散見されますので集学的診療という俯瞰的にアプローチできる考え方は常に頭の片隅にでも据えておくべきことだとは思いますが。なかなか実行するということが難しいことでもありますけれども。

#### 5.このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数選択可）

81件の回答



## その他、質問等

- ・本日はありがとうございました。この様な研修会を企画して下さった関係者の方々には感謝しております。大変勉強になりました。
- ・ケースプレゼンを多くしたほうがいいのかと思いました。次回プログラム期待してます。
- ・具体的な症例のお話も詳しく聞けて、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・富永病院様紹介患者の診察、ありがとうございました
- ・インドメタシン等を処方されている患者さんの抜歯等を行う場合、そのインドメタシンが創部痛に奏功する可能性はありますでしょうか？さらにロキソプロフェンを処方して過剰処方にはなりませんでしょうか？
- ・大変基礎的な質問で申し訳ございませんが、石崎先生の PH と CH のご講演の中で、インドメタシンの効果の指標に、CGRP と NO があったのですが、この NO が分からなかったので、教えていただけたら幸いです。宜しくお願いいたします。
- ・「歯科医師」の為だけに このような貴重な学びの場を与えて頂き、深謝いたします。家を離れられない者にとりましては、web 開催は大変、助かります。有難うございました。
- ・本日の講演では、頭痛の基本的なことから説明して下さったので、大変わかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・WEB セミナーは 本当に助かります。コロナ禍が襲っていないなくてもやはり休日時間 私用も（介護など）あり 移動時間を考えると もし会場のみでの開催ならば 移動時間を考えた場合出席はできなかったと思います。コロナ終息後も このような形で継続を望みます。